

### 3 雪との共生に関する検討 (想定する対応や課題について)

### <現状や課題>

- これまでは、安全安心及び快適な冬期道路環境を確保するため、多くの労力やコストをかけて除排雪を実施
- 人口減少、少子高齢化に伴う将来的な「担い手不足」や「税収減」の見通し
- 局地的、集中的に続く降雪や、急な暖気などの気象条件の変化により、交通影響が発生  
(例:令和3年度の大雪)
- 道路交通を確保するための除排雪は、今後も道路管理者(行政)が実施するが、あらゆる状況変化に対して、行政の除排雪が不足なく対応し続けることは難しい予測
- 気象条件や社会情勢の変化に応じて、行動や暮らし方を考えていくことも必要

### <課題解決に向けた視点>

#### 【視点1】

気象に合わせた行動

#### 【視点2】

冬の暮らし方

#### 【視点3】

雪の持つ魅力の活用

## &lt;背景&gt;

- 局地的、集中的に続く降雪(ドカ雪)や急な暖気によるザクザク路面の発生が頻発化
- コロナウィルスを経て、民間企業におけるテレワークなどの新たな働き方が社会に普及
- 国のGIGAスクール構想に基づき、小中学校におけるモバイル環境の整備を推進



大雪時の交通渋滞

## &lt;想定する対応例&gt;

## ○大雪発生時

除排雪作業が行き届くまでに時間を要するため、通勤や通学などの外出を控える、または、時間帯をずらす。

## ○急に気温が高くなった日

ザクザク路面によるスタックを避けるため、車の使用を控える。

など

## &lt;対応に向けた課題&gt;

- 社会全体の受け入れ環境の整備が必要 (意識醸成や制度)
- 「精度の高い気象予報」や「作業の進捗情報」などの発信が必要

など

## &lt;背景&gt;

- 担い手不足による除排雪作業の遅延の可能性(例)一晩で行っている作業が数日間かかる)
- 高齢化の進行により、各家庭における家の前に寄せられた雪や敷地内の雪処理が困難化
- ライフスタイルの多様化などにより、地域内のつながりや活力の低下が懸念
- 敷地内から道路への雪出しにより、通行環境の悪化や道路除排雪作業の支障となっている



雪かき作業の状況

## &lt;想定する対応例&gt;

## ○夜間に降雪があった日

家の前の雪かきのため、通勤や通学時間を遅らせる。

## ○高齢単身者がいる地域

雪かきができない高齢者宅などを助ける、地域のボランティア等を拡大。

など

## &lt;対応に向けた課題&gt;

- 社会全体の受け入れ環境の整備が必要  
(意識醸成や制度)
- 除雪ボランティアなどの活動に取り組みやすい環境の整備が必要
- 宅地内での雪処理方法や地域内の雪置き場の確保

など

## &lt;背景&gt;

- 雪は市民生活において大きな負担や課題として認識
- 札幌ではスノーキャンドルを灯すというイベントが定着し、世代を超えた地域のつながりに寄与
- さっぽろ雪まつりやウィンタースポーツを目的に、多くの観光客が来札



地域におけるスノーキャンドル

## &lt;想定される対応例&gt;

○雪の魅力を活用した市民意識の変革や地域活動の活性化

○冬ならではのイベントやアクティビティの活用

観 光:さっぽろホワイトイルミネーション(都心部)  
や雪灯路(定山溪)など

雪遊び:ゆきひろば(プレミストドーム)や羊ヶ丘ス  
ノーパーク(羊ヶ丘展望台)など

## &lt;対応に向けた課題&gt;

- 市民が雪に親しみを覚える取り組みが必要
- 札幌の魅力を高めるさらなる雪の活用策が必要

など



札幌市では、生活道路の新雪除雪の出動状況を以下の情報ツールで発信しています。  
情報提供期間:12月1日～3月20日頃まで

## 除雪や雪に関する情報を発信しています

翌日の雪かきや通勤・通学時間の目安として、札幌市などで提供している情報をご活用ください。

### 除雪の出動情報

生活道路(住宅街の道路)の新雪除雪の出動情報を掲載します。  
テレビのデータ放送、札幌市公式ホームページ、札幌市<sup>ライン</sup>公式アカウント  
トからご確認ください。

情報提供期間:12月1日(日)～令和7年3月20日(木・祝)

#### ■テレビのデータ放送

放送局:HTB、NHK、HBC、UHB



#### ■札幌市公式ホームページ

更新頻度:10分間隔



#### ■札幌市<sup>ライン</sup>公式アカウント

配信時間:6時～24時  
登録方法は  
ホームページを  
ご覧ください



### 雪かき指数

翌朝の雪かきの必要度を4段階で表示



(札幌市公式ホームページ)



### つるつる予報

歩道の滑りやすさを3段階で予測



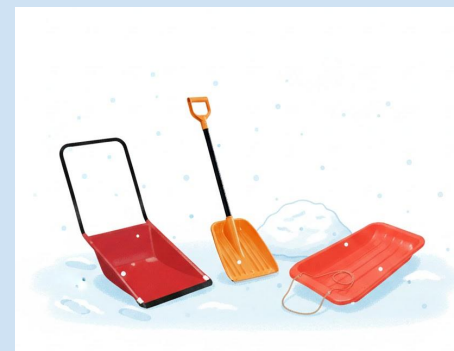
(ウインターライフ推進協議会のホームページ)



#### ①除雪用具や小型除雪機の貸出制度 ※第1回審議会におけるご意見⑥

地域で行う除雪ボランティア活動に使用する除雪用具や小型除雪機を貸出

令和6年度の実績:除雪用具52団体、小型除雪機:40件



#### ②小型除雪機購入費の補助 ※第1回審議会におけるご意見⑥

除雪ボランティアを行う団体が小型除雪機を購入する場合、購入金額の一部を補助

令和6年度の実績:12件



#### ③公園の雪置き場としての利用

公園への雪入れは、原則禁止していますが、札幌市との間で覚書を交わし、ルールを守っていただくことで、一部の公園を雪置き場として開放

※条件により利用できない公園もあります。

令和6年度の実績:1,609件



### ①学生の除雪ボランティア

高校生や大学生による除雪ボランティアが行われており、学生と地域のつながり創出にもつながっている。

活動の仕方としては、学校のプロジェクトや地域のボランティア活動への参加といった形がある。



学生の除雪活動状況

### ②企業や団体の除雪ボランティア

企業や団体による高齢者宅などの除雪ボランティアが行われており、札幌市や社会福祉協議会において、実施住宅とのコーディネートを実施



企業の除雪活動状況

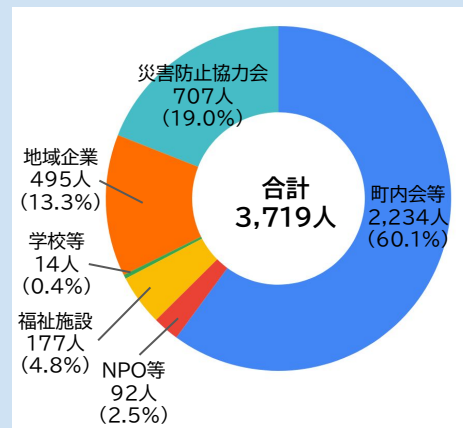
- 札幌市(雪対策室)を通じた活動(令和6年度):4団体
- 社会福祉協議会を通じた活動(令和6年度):25団体

### ③福祉除雪事業(社会福祉協議会)

高齢や身体障がいなどにより除雪が困難な世帯のお宅を地域協力員が除雪する事業。

地域協力員として、町内会や地域企業・団体など幅広い市民が参加している。

新たな活動として、地域協力員の急用・急病時などに、替わりに除雪を行うスポット協力員制度を導入予定。



令和6年度の地域協力員数

### ④消防団の活動 ※第1回審議会におけるご意見⑦

消防団員は、本業を持ちながら、火災や大規模災害時に出勤する「非常勤特別職の地方公務員」である。

(団員数:約1,700名)

<災害時の活動>

火災、救助等のほか、地震や台風等による大規模災害時の活動

<平常時の活動>

- 地域住民への救急・防災指導、各種訓練等
- 消防水利の確保(冬期間の消火栓除雪)



消火栓除雪の状況



- 雪との共生に関する3つの視点について、必要と考えられる対応やその対応に向けた課題などのご意見をいただきたい。

<雪との共生に関する3つの視点>

【視点1】

気象に合わせた行動

【視点2】

冬の暮らし方

【視点3】

雪の持つ魅力の活用